

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版
 (仮称)プレサンスロジエ吉祥院三ノ宮町 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-京都-建築(新築)2018年
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体				
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し			評価点	重み係数	評価点	重み係数								
Q 建築物の環境品質												2.9				
Q1 室内環境												3.2				
1 音環境												3.4				
1.1 室内騒音レベル												3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音												5.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能												5.0	1.00	5.0	0.30	T-3を使用している。
2 界壁遮音性能												-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)												-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)												-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音												-	-	-	-	
2 温熱環境												2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御												3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温												3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能												3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ソーン別制御性												-	-	-	-	
2.2 湿度制御												1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式												3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境												3.0	0.25	3.6	1.00	3.5
3.1 屋光利用												4.2	0.30	4.0	0.30	
1 屋光率												5.0	0.60	5.0	0.50	●自然 A(全国版準用) 集会室屋光率:7.3%、住戸B1洋室屋光率:4.8%
2 方位別開口												-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備												3.0	0.40	3.0	0.20	●自然 B(推奨内容)
3.2 グレア対策												2.0	0.30	4.0	0.30	
1 屋光制御												2.0	1.00	4.0	1.00	●自然 B(推奨内容) バルコニー庇を設置している。
3.3 照度												3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御												3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境												3.2	0.25	3.8	1.00	3.7
4.1 発生源対策												4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質												4.0	1.00	4.0	1.00	F☆☆☆☆の内装材を採用している。
4.2 換気												2.0	0.40	3.6	0.38	
1 換気量												3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能												-	-	5.0	0.33	●自然 A(全国版準用) 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。
3 取り入れ外気への配慮												1.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理												-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視												-	-	-	-	
2 喫煙の制御												-	-	-	-	
Q2 サービス性能												-	0.30	-	-	3.0
1 機能性												2.7	0.40	3.4	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ												3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性												-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応												-	-	4.0	1.00	光ケーブルの引込を計画している。
3 バリアフリー計画												3.0	1.00	-	-	●大切 D(独自基準)
1.2 心理性・快適性												1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観(天井高)												-	-	4.0	0.50	●とも C(独自加点) 敷地内の緑地を利用者が感じることができる。
2 リフレッシュスペース												3.0	-	-	-	
3 内装計画												1.0	1.00	1.0	0.50	●自然 D(独自基準)
1.3 維持管理												4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計												4.0	0.50	-	-	維持管理しやすい材料を使用した設計としている。
2 維持管理用機能の確保												4.0	0.50	-	-	維持管理機能の確保に配慮した設計をしている。
2 耐用性・信頼性												3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振												3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)												3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能												3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数												4.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数												5.0	0.20	-	-	●大切 A(全国版準用) 劣化対策等級3相当
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔												5.0	0.20	-	-	主にタイル貼りを採用している。
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔												3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔												3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔												5.0	0.20	-	-	給水:硬質塩化ビニルライニング鋼管⇒B、給湯:ポリブテ
6 主要設備機器の更新必要間隔												3.0	0.20	-	-	